「食の宝庫・鹿屋」の恵みを給食に

～地元食材で育む郷土愛と食育～

鹿屋市立南部学校給食センター

鹿屋市には「南部学校給食センター」「北部学校給食センター」「吾平学校給食センター」の３つのセンターがあります。本センターは、鹿屋市街地の南部地区にある自然豊かな台地に平成22年に開設され、現在は小学校13校・中学校７校の約５、７００食を提供しています。

鹿屋市は錦江湾や高隈山系などの豊かな自然環境を生かした第一次産業が盛んで、まさに「食の宝庫」と呼ぶにふさわしいまちです。こうした恵まれた環境のもと、地域の旬の食材を給食に取り入れ、子供たちへ届けることができています。

特に今の時期は、お茶の収穫が最盛期を迎えており、「魚の茶パン粉焼き」「鶏肉のお茶揚げ」「お茶ふりかけ」「お茶入りそぼろ」「お茶のマドレーヌ」など、様々な形でメニューに取り入れています。本市の「かのや深蒸し茶」の魅力を、給食を通じてさらに発信していきたいと思っています。

また他にも、「かのや紅はるか」「鹿児島黒牛」「かのやカンパチ」「鰻」など、全国に誇れる食材が多くあります。「鹿屋に生まれて良かった！」と子供たちが感じられるよう、郷土への愛着と誇りを育む食育とおいしい給食の提供を、これからも大切にしていきたいと思います。

地元のお茶を使用した「ちくわのお茶揚げ」「お茶入りそぼろ」